

市立豊中病院総合情報通信システム(TOPICS)更新に係るシステム調達 プロポーザル質問一覧

No.	質問箇所	要件	質問	回答
1	システム機能要件書 BA. 患者案内表示システム BA. 2. 2. 1 BB. 会計表示システム BB. 2. 2. 1	設置場所は既設と同じ場所に設置すること。	現地調査にて一式確認を行い、左記要件内容を下記の数量確認しました。 更新箇所の数量に相違ないがご教示ください。 1F 14台（会計、診察待ち受け） 2F 2台（放射線待ち受け） 3F 1台（リハビリ診察待ち受け）	案内モニタの更新箇所の数量は以下でお願いいたします。 ・患者案内表示システム用モニタ：15台 ・会計表示システム用モニタ：4台 ・調剤支援システム用モニタ：1台 ・放射線科情報システム用モニタ：2台 設置場所、台数は回答別紙①のシートをご確認ください。
2	市立豊中病院総合情報通信システム（TOPICS）更新に係るシステム調達 プロポーザル実施要領	P3、P5 2. 4. TOPICSのシステム構成及び本調達における更新範囲	区分が「別調達」となっている項目に関して、電子カルテメーカー側にかかる費用（接続費用等）は見込む必要がございますでしょうか。	別調達のシステム接続費用等はシステムが決まっておりますので見込む必要はありません。
3	市立豊中病院総合情報通信システム（TOPICS）更新に係るシステム調達 プロポーザル実施要領	P7 4. 実施スケジュール 質問事項の受付期限 令和6 年8 月20 日午後5 時まで	左記のとおり記載がございますが、お盆休みの兼ね合いで仕入れ先業者含めて質問が出揃わない可能性がございます。 質問事項の受付期限を延ばしていただくことは可能でしょうか。	質問事項の受付期限を延ばすことはできません。
4	市立豊中病院総合情報通信システム（TOPICS）更新に係るシステム調達 プロポーザル実施要領	P8 (8) プレゼンテーションは業務実施体制書に記載されたプロジェクトマネージャーが行ってください。	左記のとおり記載がございますが、ご提案内容によっては実際に提案内容の調整を行った営業担当者の責任でプレゼンテーションをすべき場面もあると考えております。 主はプロジェクトマネージャーにて行いますが、場面によって営業担当者にてプレゼンテーションをさせて頂きたいと考えておりますがいかがでしょうか。	主な提案者がプロジェクトマネージャであれば部分的な提案のみ営業担当者が行うことは問題ありません。但し、プロジェクトマネージャのプレゼン能力（提案の把握力や説明能力などを含む）も評価項目になりますので、プロジェクトマネージャ以外からの提案は最小限にさせていただきますようお願いいたします。
5	システム機能要件書	別紙①のシートの通り	システム機能要件書内でCとD→Bに、意図していない文字置換となっているのではないかと考えております。 別紙①のシートの通り弊社側で読み替えて対応させていただきますが問題ございませんでしょうか。	ご指摘の通り、意図しない文字置換が行われておりました。 読み替えてご対応いただけると幸いです。

市立豊中病院総合情報通信システム(TOPICS)更新に係るシステム調達 プロポーザル質問一覧

No.	質問箇所	要件	質問	回答
6	システム調達仕様書	5. 9. 14 バックアップは1日1回以上行うようスケジュールすること。また、週次のフルバックアップは概ね12 時間以内、日次のオフラインバックアップは概ね6 時間以内に完了すること。	現在の日次のオフラインバックアップでとられている差分データ容量はどれくらいでしょうか。バックアップ時間を計算するために、現在の日次の差分データ総量を参考に確認できればと考えております。	直近の日次のオフラインバックアップのデータ容量については、下記の通りです。 ・バックアップサーバ1号機 電子カルテ 190. 43GB ・バックアップサーバ2号機 医事・歯科 29. 71GB ・バックアップサーバ3号機 部門系① 1. 94TB ・バックアップサーバ4号機 部門系② 3. 56TB ・バックアップサーバ5号機 部門系③ 2. 01TB バックアップサーバ3号機～5号機の部門系データは、特定フォルダ内のデータを毎日フルでバックアップしている為、日次の差分データ容量は不明です。現状の部門系データは、部門システム側からバックアップサーバの特定フォルダにバックアップデータを置く設計になっております。
7	システム調達仕様書	【システム連携】 項番:4. 13. 4 すべての部門システムにおいて医事算定が必要な実施情報はすべて医事会計システムと連携するよう構築すること。	医事会計システムへ直接連携、電子カルテを介した医事会計システムへの連携の両手段での連携を想定しておりますが、問題ないでしょうか。	医事算定が必要な実施情報について漏れなく医事会計システムに連携される設計であれば問題ありません。
8	システム調達仕様書	【次回の更新時の契約】 項番:4. 14. 5. 3 当院の求めに応じて、通信・転送プロトコルや、蓄積されるデータのフォーマット、データの抽出方法等を、一般的なデジタル情報形式で速やかに、かつ、無償で、当院の指定する一般的なメディアあるいは一般的な転送方法によって提供すること。 項番:4. 14. 5. 4 提供される蓄積データのデジタル情報の意味や相互の関係や算出アルゴリズムを明示した当該データの処理や運用上必要となる技術資料等についても、合わせて無償で提供すること 項番:4. 14. 5. 6 資料開示に際し、当院のデータ移行、閲覧、修復の遂行等に必要な情報が欠けていると当院が判断した場合の当院の追加情報提供要求については、無償で応じること。	各項記載内容に関して、出来る限りの協力をさせていただきます。但し、抽出データによっては別途ご相談をさせていただく可能性がございますことをご了承いただけますでしょうか。	抽出データによって、別途相談いただくことは可能です。ただし、システムに登録して蓄積しましたデータは、当院の資産であると考えますので、当院が利用できるように無償で情報提供及び対応してください。また、当院の利用に制限のないよう対応してください。
9	システム調達仕様書	【レスポンス】 項番:5. 3. 6 電子カルテシステムの起動、外来患者一覧の表示、入院患者一覧の表示、カルテ表示、熱型表・経過表の表示、各入力画面の利用開始等、患者の通院や入院期間に係わらず、概ね3秒以内であること。	カルテ表示や熱型表・経過表の表示に関しては、データ量に依存するため、必ずしも3秒以内での対応が困難な場合がございます。特定患者のデータ量による起動レスポンス低下の可能性があり、ご了承いただけますでしょうか。事前のデータ移行等の評価時に確認、システム設計を行うようにいたします。	特定患者の1画面に表示するデータ量による起動レスポンス低下は一定は許容します。但し、データ量が多くても業務に大幅な影響や遅延が発生しないよう、レスポンスが低下しにくいシステム設計を行ってください。

市立豊中病院総合情報通信システム(TOPICS)更新に係るシステム調達 プロポーザル質問一覧

No.	質問箇所	要件	質問	回答
10	システム調達仕様書	【ユーザ管理】 項番:5.7.4 ユーザ情報は、職員ID、パスワード等を一元管理し、院内ポータル、ユーザ認証システム、移動ユーザプロフィールとリアルタイムに同期すること。また、パスワード変更がされた場合は、速やかに同期し、ユーザがシステムを利用できない時間を生じさせないこと。	現行システムでは、ポータルから各システムの起動時にパスワードは引数の対象としておりません。 理由としましては、パスワードを引数とすると、パスワード更新時にシステム間の同期を行うまで、システム起動ができないためです。次期システムにおいても同様の設計を想定しておりますが問題ないでしょうか。	本要件の内容は院内ポータル、ユーザ認証システム、移動ユーザプロフィールとユーザ情報をリアルタイムに同期することを記載しております。 院内ポータルから各システムの起動時についてはパスワードを引数の対象にしない設計でも構いませんが、セキュリティ上、脆弱とならないよう設計してください。また、パスワードの連携が必要になるシステムがあれば同様にリアルタイム同期を行ってください。
11	システム調達仕様書	【業務継続】 項番:5.13 業務継続	5.13の各項記載の時間に関しましては、障害原因によっては時間超過する可能性がございます。クラスタの冗長化に伴う切り替えや、仮想サーバのマイグレーションによる切り替えにて対処可能な障害に関しては、記載事項の時間にて対応できると想定しております。認識齟齬はございませんでしょうか。	ご質問の認識で齟齬はありません。
12	システム調達仕様書	【診察券発行機】 項番:6.12.1 診察券発行機を以下の要件で調達すること。	台数は2台の認識でおりますが、齟齬はございませんでしょうか。	ご質問の認識で齟齬はありません。
13	システム調達仕様書	【リストバンドプリンタ】 項番:6.21.1 リストバンドプリンタを以下の要件で調達すること。 ⑤ カッター機能が搭載されていること。	⑤に関しまして、リストバンドをカッターで切断することは不可となりますため、カッター機能はOFFでの運用の認識で問題ないでしょうか。	リストバンドをカッターで切断できる製品がない場合は、カッター機能はOFFでの運用で問題ありません。
14	システム調達仕様書	【基幹サーバ、部門系サーバ】 項番:6.25.4 ストレージの容量は基幹システムを構成する為に必要な容量に合わせ過去の基幹システムデータを格納できる容量を確保すること。また、ファイルサーバのストレージ容量は現行のファイルサーバ上の全データ(約10TB)をすべて格納できる容量として10TB以上を確保すること。	10TB以上を確保することとご記載をいただいております。弊社としましては現状を考慮し、15TBのご準備を想定しておりますが、問題ないでしょうか。	ファイルサーバの容量について15TBのご準備で問題ありません。